

事業番号	09 04 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	園芸総合対策事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課
			実施期間	H17～	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	労働生産性					
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 長野県園芸作物（果樹、野菜、花き、きのこ）は、県農業農村総合生産の約69%（1,963億円/県全体2,841億円 平成29年推計）を占める主要部門であり、レタス、りんご、カーネーション、えのきたけなど全国シェア上位品目をはじめ、質の高い多様な品目・品種がバランスよく生産されている。
	【目指す姿】 マーケットインの生産を基本に、県内で育成されたオリジナル品種や本県の立地条件を活かした販売力の高い品目・品種の導入、拡大等を進めることにより、競争力の高い園芸産地を実現する。
	【実施内容】 集出荷貯蔵施設の整備、研修会の開催、プロモーションの実施など

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						事業 コス ト	区分(単位:千円)		H30年度	R1年度
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況	前年度繰越		
1	生産振興を目的とした研修会開催回数	32回	20回 ↘	31回 ↗	40回		未達成	現計予算	1,258,864	904,244
2	果樹戦略品種等の栽培面積	2,019ha	2,191ha ↗	2,390ha ↗	2,151ha		達成	合計(A)	1,258,864	1,895,614
3	りんごの高密度植・新しい化栽培面積	303ha	307ha ↗	358ha ↗	470ha		未達成	うち一般財源	57,424	65,838
4	夏秋期のレタス、はくさい、キャベツの全指定産地出荷量に占める契約割合	43.1%	48.9% ↗	47.1% ↘	37.9%		達成	決算額(B)	458,084	1,572,252
							職員数(人)	3.1	3.1	

成果指標設定理由	実需者からの要望や苗木の生産計画、生産者団体等の出荷計画等に基づき設定
----------	-------------------------------------

達成状況の分析	①品目ごとに生産振興に必要な研修会を効果的に開催 ②長野県オリジナル品種等の戦略品目への改植が進んでいる ③専用苗木も増え、長野県オリジナル品種等への改植にあわせ着実に増加してきたが、目標にはまだ遠い状況 ④主要品目であるレタス、はくさい、キャベツについて、契約出荷による生産者の経営安定と消費者への安定供給が図られた。
---------	---

主な取組	<p>✓マーケットニーズに応える競争力の高い信州農産物の生産振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りんご早期多収・省力化栽培技術導入、県オリジナル品種等生産拡大に向けた検討会開催支援。 ・高品質で安定的な野菜産地構築のためのモデルほ場設置、研修会開催支援。 ・キク類、カーネーション等の需要期安定出荷栽培技術確立を図る検討会開催支援。 	 
	<p>✓園芸作物の産地基幹施設等の整備を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減や高品質で付加価値の高い作物の生産・供給体制を確立のため、生産施設や集出荷施設等の整備を支援 	 
	<p>✓スマート園芸機器の「お試し導入」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲ある農業生産者が最新機器の効果を実感できるよう「お試し導入」を実施 ・県が購入した機器を生産者に貸し付け（4種類 29台） 	  

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのよう にしていきたいか	消費者ニーズの多様化・複雑化により需要に合わせた計画生産、需要が創出できる分野への対応とともに、生産段階における労働生産性の向上や省力化のためのスマート農業技術の導入拡大が求められている。	園芸品目の“強み”を伸ばし“稼ぐ力”の一層の強化を図るため、必要な機械の導入支援、技術者研修会等を実施する。また、スマート農業機械の生産者への「お試し導入」を進めるとともに、農業者が技術を習得する研修会を開催する。

事業番号 09 04 01 細事業一覧（令和元年度実施事業分） □当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	----------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	信州農業生産力強化対策事業	46,892 千円	52,905 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	信州農業生産力強化対策事業	補助金	長野県農業の多様な生産力を図るため、新たな技術の現地への普及やマーケットニーズに対応した産地の育成に必要な機械・施設等の導入等を支援を行った。 31団体

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	皆で取り組む園芸振興事業	3,705 千円	3,105 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	果樹の早期多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル品種の生産振興	補助金	りんご新しい化栽培等早期多収・省力化栽培技術の導入推進を図るため、研修会及びりんご・ぶどう等県オリジナル品種等生産拡大に向けた検討会の開催等を支援した。（研修会・検討会の開催 12回）
2	野菜の生産振興及び多品目化等実需者の求める野菜生産の推進	補助金	生産流通コストの低減、品質の向上を図り、地域の特徴を活かした安定的な野菜産地を構築するため、地域モデルほ場の設置、研修会の開催等を支援した。（モデルほ場23か所、研修会・現地検討会の開催13回）
3	新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産・流通技術の導入	補助金	キク類、カーネーション等の主要切花の需要期に安定出荷に向けた栽培技術の確立等を図るため、検討会の開催等を支援した。（モデルほ場14か所、研修会・検討会の開催6回）

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
3	園芸産地強化対策整備事業	402,020 千円	1,510,083 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	園芸作物産地基幹施設等の整備	補助金	生産・流通コストの低減や高品質で付加価値の高い生産・供給体制の確立等を図るため、野菜・果樹・花き集出荷施設の整備等を支援した。（15団体）
2	農業用ハウスの強靱化	補助金	災害に強い施設園芸産地づくりを進めるため、十分な耐候性のないハウスにおける補強や防風ネットの設置等を支援した。（18団体）

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
4	スマート園芸体験事業	0 千円	6,159 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	スマート農業技術の導入推進	直接	スマート農業技術の現地普及を加速化するため、農業機械メーカー等と連携し、意欲ある経営体が最新機器の効果を実感できるように「お試し導入」を実施。（4技術 29台）